

かわしま 川島まさひろNEWS

発行
2011年夏号
第2号

●発行所：公明党川崎市議会議員団
●印刷所：株式会社光明印刷 川崎市幸区塚越4-345
●発行人：川島まさひろ
川崎市中原区井田3-17-20-405
TEL & FAX：044-799-1021



平成23年第3回川崎市議会定例会で川島議員は、6月30日に一般質問に立ち、4項目の質問を行いました。①防災について ②土曜日区役所窓口取扱い業務拡大 ③今井中学校区の「いこいの家」早期整備 ④駐輪場の防犯対策について

中部小児急病センターの早期整備を

川島議員は、公明党代表質問項目の中で「救急医療体制の強化と地域医療体制の充実」を担当しました。

小児救急医療については、南部・北部にしかなく中部地域へ早期に整備する必要性を訴えました。

武蔵小杉駅再開発などで、子育て世代の人口増加が著しい中原区では、小児医療体制の充実が喫緊の課題とし、「中部小児急病センター」の設置に向けた本市の取り組みについて質問しました。

健康福祉局長は「川崎市地域医療審議会の救急医療体制検討委員会で、本年3月と6月に2回の会議を開催し、人口動態、休日急患診療所の利用率等の検証や中部地区における小児救急医療体制のあり方について検討を進めており、平成23年度中に報告書が提出される予定」と答弁しました。

また、取り組みの時期については、「小児急病センターの小

児科医師の確保が難しい状況があるなか各区休日急患診療所の診療体制の見直し、救急医療における小児科医師の集約化など、さまざまな課題について十分な議論を尽くす必要がある」と答弁し、具体的な課題と共に、整備に向けた取り組みが明らかになりました。

小児救急医療については、子どもの命に関わる大事な課題として、川島議員は中原区の子育て世代を代表し、中部小児急病センターの早期整備に向け一層の取り組みを市に働きかけていきます。



初登壇の川島議員

避難所マニュアル見直しを

一般質問で川島議員は、防災について質問。震災当日、中原区の避難所になっている小学校では、停電で電話もつながらない中、保護者の引き取りがあるまで多くの児童を預かる一方で、停電と余震の不安から自主的に避難所へ避難された方の対応についても学校の教職員だけで対応をし、非常に混乱した避難所の様子を紹介。

当日の避難所運営については、備蓄物資も無く、長時間の停電被害があった避難所の状況を市がしっかり掌握し、全市的に情報を共有して、今後の避難所運営に活かすよう運営マニュアルの見直しの必要性を訴えました。総務局長は「運営に必要な情報を提供し、様々な災害を踏まえた避難所運営ができるよう、各避難所運営会議で検討していく」と答弁しました。

避難所の水道管耐震化急げ!

川島議員は今回の震災を受け、避難所の水確保を心配する声が多い事を紹介。本市においては災害時の給水施設である、応急給水施設の設置が進む一方で、避難所に指定されている小学校への水道の供給管路の耐震化が進んでいない現状について質問しました。

上下水道事業管理者は「川崎市では、平成25年度を目途に地域防災拠点や重要医療機関等への供給管路の耐震化をすすめるなか、平成22年度実績で、全市立中学校51校のうち36校、重要な医療機関等78施設のうち38施設まで整備が完了。

避難所となっている小学校での水道管の耐震化や災害対策用貯水槽設置済み施設は15校との現状を明らかにし、今回の震災を受けて、老朽配水管更新計画の中で避難所への耐震管の更新を優先的に実施することを検討する」と答弁しました。

窓口サービス拡大を!

本市では、第2・第4土曜日の午前中に区役所の一部窓口を開設しています。平成19年10月から実施し、利用者も平成20年度の32,000人から平成22年度は37,000人と利用者が増加しています。



川島議員は、高齢者を見守る家族が、年金や介護など福祉関係の手続きを代理で行うケースが増える中、土曜日でも窓口対応できるようにしてほしいとの市民の声を紹介し、土曜日の区役所窓口取扱い業務拡大について質問しました。

総合企画局長は「介護保険や年金業務などを適切に行うことの重要性については認識しているが、取り組みについては今後研究していく」との答弁にとどまりました。市民にとって行政の最も身近な窓口である区役所サービスは、社会環境の変化や進む高齢化によって生じる新たな市民ニーズに対し、しっかり応えていくべきだとし、土曜日の区役所窓口取扱い業務の拡大を強く要望しました。

介護予防・防犯対策の充実を!

川島議員は、中学校区単位に整備が行われている「いこいの家」が、中原区の今井中学校区に整備されていないことを指摘し、早期の整備を要望しました。



また、介護予防で行われる体操教室の充実やグループで体操を行っている方々が、市の施設を借りづらいう状況にあることから、継続して活動できる環境づくりを行政がもっとサポートしていく必要があることを訴えました。

駐輪場の防犯対策については、JR武蔵中原の駐輪場でのイタズラによるパンク等の軽犯罪被害の報告が多いことや女性の帰宅が夜遅くなる傾向があることを踏まえ、施設外から目が届きにくい駐輪場2階建て部分は、防犯カメラ等の設置により犯罪抑止を図るよう求めました。

「割れ窓理論」に代表されるように、小さい犯罪を見逃す事により大きい犯罪につながっていくことを紹介し、イタズラによるパンク等の軽犯罪は大きい犯罪のサインとしてとらえ、一層の防犯対策強化を要望しました。

◆お知らせ◆

川崎市では、不妊や不育症に悩む方の相談窓口として、専門医や不妊症看護認定看護師による相談センターを開設しています。

望んでも妊娠しない、妊娠しても流産を繰り返す等の症状で、治療を受けようか迷っている方や検査・治療方法を知りたい方などのご相談を無料で受け付けています。

◎開設日時／毎月1回土曜日
午前9時30分～11時30分
(予約制一組30分程度)

◎予約方法
お電話でのお申込みとなります。
川崎市看護協会
TEL：044-711-3995
受付時間：9：30～17：00
(土・日・祭日以外)

◎場所
川崎市ナーシングセンター相談室
住所：中原区今井上町34和田ビル3F

※詳しい日程については、川崎市看護協会にお問合せください。



川島まさひろの 視点 VOL.2



▶3月11日の震災以降、川崎市でも震災対策、放射線対応に多くの課題が出ました。

▶市民の皆様の不安の声に応え、川崎市でも校庭など447か所の放射線量測定が行われました。しかし、子どもが通う小学校、中学校の測定結果も学校から保護者への連絡も無く、ご存じない方がたくさんいらっしゃいます。

▶何のために実施したのか？ 市民の不安を払拭するために行ったはずの結果もしっかりお伝えしなければ意味がありません。

▶「ホームページに掲載しています」最近良く聞くフレーズですが、行政からの発信は市民にとって必要な情報であるはずで、必要があると思います。議員である私も行政と市民のパイプ役として、情報を発信し、市民の声をしっかり行政に届けてまいります。

川島まさひろのホームページがリニューアル!

(市民相談などお気軽に) www.kawashima-m.com/
声をかけてください。 ●ぜひ、一度アクセスしてください。

議会 電話：044-200-3361 FAX：044-245-4137
自宅 電話&FAX 044-799-1021
E-mail kawashima@komei-kawasaki.com